

第4章 公害苦情

1 概要

平成22年度の公害苦情受付件数は151件で、前年度から増加しています。種類別では、騒音に関する苦情が59件と最も多く、次いで大気汚染、水質汚濁、悪臭、振動の順となっています。(図4-1、図4-2)

なお、騒音・振動、大気汚染、悪臭関係の苦情は環境企画課で、水質汚濁や土壌汚染に関する苦情は水保全課で対応しています。

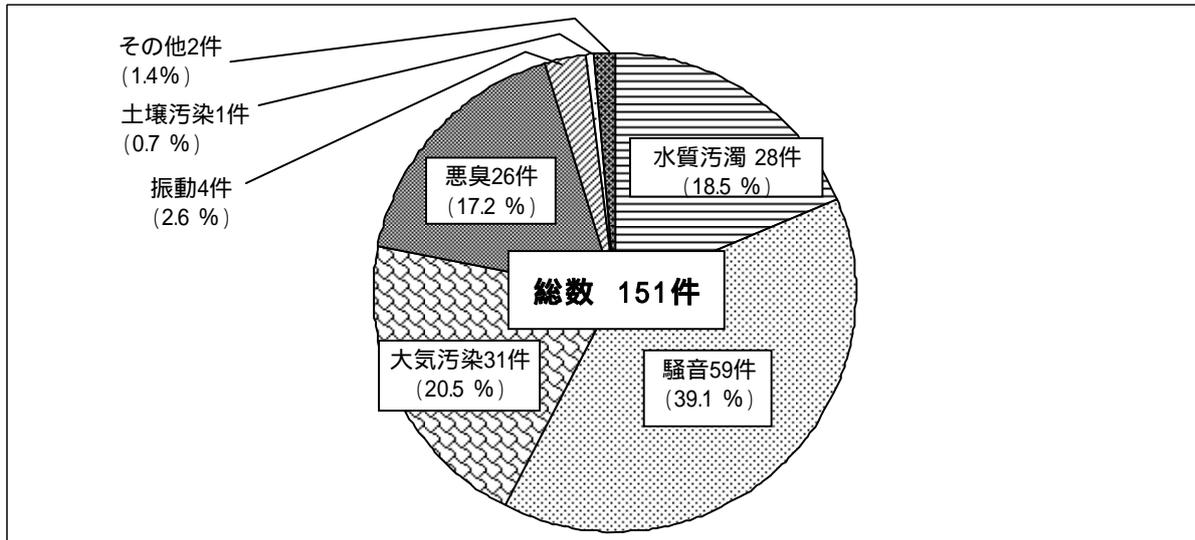


図4-1 公害苦情の内訳

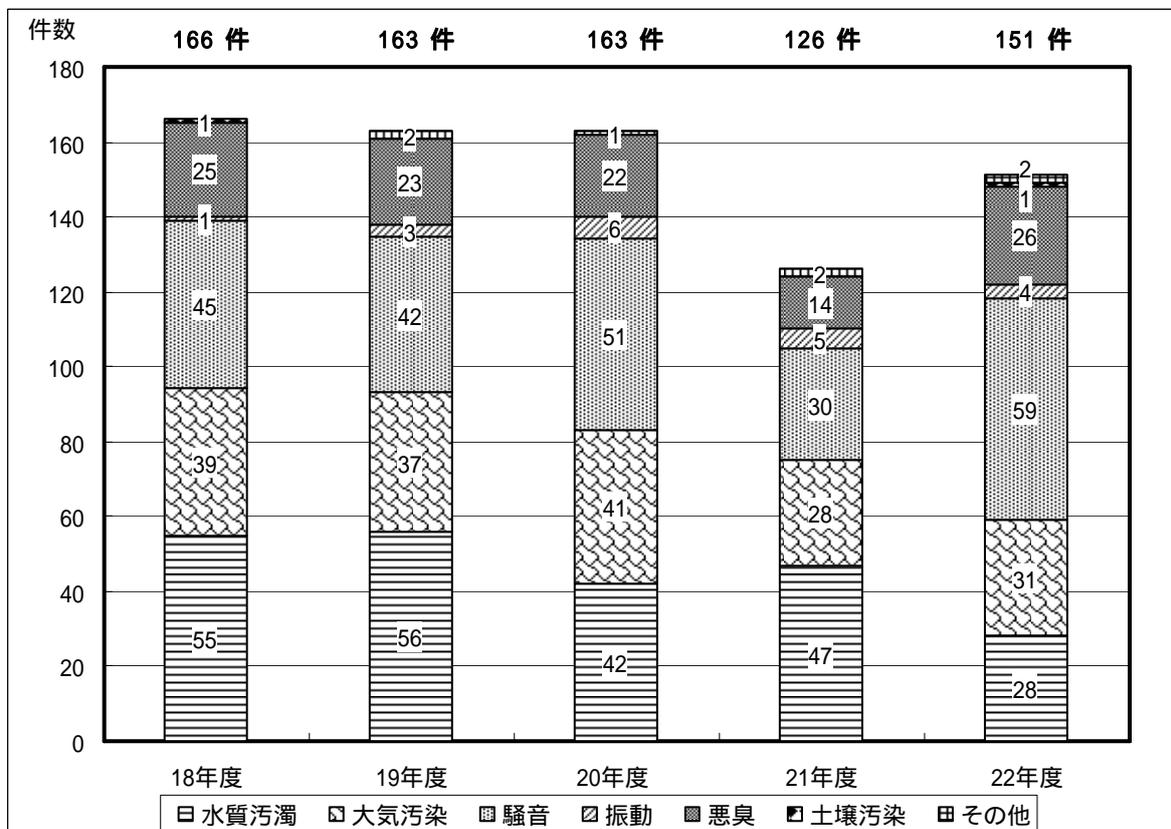


図4-2 公害苦情件数の推移

大気汚染

大気汚染に関する苦情は 31 件で、苦情全体に占める割合の約 21 %でした。

発生源の主な原因では、廃棄物の焼却によるものが 22 件(家庭生活 9 件、事業所 10、不明 3)と最も多く、次いで事業所からの排ガス・粉じんによるものが 4 件、建設・解体作業に伴う粉じんによるものが 1 件となっています。廃棄物の野外焼却による苦情については、廃棄物指導課でも対応しています。

騒音

騒音に関する苦情は 59 件で、苦情全体に占める割合は約 39 %でした。

発生源の主な原因では、工場、サービス業等の事業活動に伴う機械・設備の音や作業音が 24 件と最も多く、次いで建設作業に伴う騒音が 20 件、移動販売車等からの拡声器騒音が 5 件、飲食店等のカラオケ騒音が 5 件となっています。

振動

振動に関する苦情は 4 件で、苦情全体に占める割合は約 3 %でした。

発生源の主な原因は、建設作業によるものが 3 件でした。

悪臭

悪臭に関する苦情は 26 件で、苦情全体に占める割合の約 17 %でした。

発生源の主な原因は、製造業、飲食店等の事業活動に伴う臭いが 6 件、畜産・農作業などの農業が 5 件、建設工事に伴う悪臭が 2 件となっています。

2 発生源の業種

公害苦情の発生源の業種は多い方から建設業、家庭生活、卸売り・小売業・飲食店の順になっています。

また、内訳の中で、不明が約 15.2 %と大きな割合を占めていますが、これは水質汚濁や大気汚染の発生源が特定できないケースが多いためです。(表 4-1)

表 4 - 1 公害苦情の発生源業種

公害の種類 業種	水質 汚濁	大気 汚染	騒音	振動	悪臭	土壌 汚染	その他	合計	
								件数	構成比(%)
農業	2	1	0	0	3	1	0	7	4.6
林業	0	0	1	0	0	0	0	1	0.7
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	2	5	15	2	1	0	0	25	16.6
製造業	4	5	4	0	1	0	0	14	9.3
電気 ガス熱供給 水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸・通信業	0	1	0	0	0	0	0	1	0.7
卸売り・小売業 飲食店	3	0	14	0	1	0	0	18	11.9
サービス業	2	1	10	0	4	0	0	17	11.2
公務・福祉・教育	1	3	6	0	1	0	0	11	7.3
家庭生活	1	10	2	0	11	0	0	24	15.9
その他	0	1	5	2	2	0	0	10	6.6
不明	13	4	2	0	2	0	2	23	15.2
合計	28	31	59	4	26	1	2	151	100

